

「子どもの波長に合わせて」

元プロボクサー坂本さん 日福大生に講義



児童養護施設出身 自身の経験伝える

美浜町の日本福祉大で1 耳を傾けた。

日、児童養護施設で過ごした経験のある元プロボクサー坂本博之さん(54)による講義があった。社会福祉士や保育士を目指す学生らが

学生のパンチを受け止める坂本さん(左) 美浜町の日本福祉大で

平洋ライト級チャンピオンを獲得。現在は全国の施設を回り「ボクシングセッション」として、心を閉ざしがちな子どもたちの思いをパンチで受け止めている。

講義では、虐待をされた過去から最初はボクシングを怖がっていた子どものエピソードを紹介。あらゆるコミュニケーションで距離を縮め、何度か訪問するうちにミット打ちをするようになったといい、「大人でも気持ちを伝えるのは難しい。子どもの波長に合わせて」ことが大事」と語った。

この日もセッションがあり、坂本さんにパンチを受けてもらった社会福祉学部3年、岡太一さんは「すっきりした。思いを受け止めてくれる人がいるからこそ、できることだと思った」と話した。

(石井豪)